

伝統医学証候<sup>(TM)</sup>

伝統医学における証 (pattern<sup>(TM)</sup>) は、すべての所見を含む任意の時点での患者の全体の臨床像である。所見は、総体的徴候又はとりわけ患者の体質を含むことがある。

1 総体的徴候:脈をとる、舌又は舌苔を調べる、腹部診察ならびにその他の方法を含む、伝統医学の診断的方法による徴候、症状又は特異な所見。

2 体質:構造的・機能的特徴、気質、環境の変化に対する適応能力又はさまざまな健康状態に対する感受性を含む、個人の特性。これは比較的安定しており、一部は先天的であり、一部は後天的である。

原理ベースの証候<sup>(TM)</sup>

八綱證 Ba gang zheng<sup>(zh)</sup>

イン/ヨウ、キョ/ジツ、カン/ネツ、ヒョウ/リ<sup>(ja)</sup>

Palgangbyeongjeung<sup>(ko)</sup>

本セクションは、伝統医学における証識別の最も基本的な原理に関して論じる。

患者の総体的徴候及び体質の分析に基づいて、証は、対立する特徴の4つの群、すなわち陰・陽、熱・寒、虚・実及び裏・表から成る8つの原理に分類される。これらの原理は最も基本的な証を構成する。本セクションは、より正確な証識別に用いられる、これらの基本的証の組合せも含んでいる。

## SC20

陽証<sup>(TM)</sup>

陽證 - Yang zheng<sup>(zh)</sup>, ヨウシヨウ<sup>(ja)</sup>, Yangjeung<sup>(ko)</sup>

表証、熱証及び実証の総体的特徴で、興奮、機能亢進、運動又は明るい像、外側・上方の症状、ならびに罹患状態を有する。陽の気質の病原性要因(陽の病邪)によって説明できるかもしれない。

## SC21

陰証<sup>(TM)</sup>

陰證 - Yin zheng<sup>(zh)</sup>, インシヨウ<sup>(ja)</sup>, Eumjeung<sup>(ko)</sup>

裏証、寒証及び虚証の総体的特徴で、抑制、機能低下、静止又は暗い像、内側・下方の症状、ならびに罹患状態を有する。陰の気質の病原性要因(陰の病邪)によって説明できるかもしれない。

## SC22

熱証<sup>(TM)</sup>

熱證 - Re zheng<sup>(zh)</sup>, ネツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Yeoljeung<sup>(ko)</sup>

発熱、悪風及び冷えたものを欲する、口渇、顔面潮紅、いらいら及び心煩、粘稠な黄色の痰及び鼻粘液、短時間の暗黒色の尿の排出、便秘、黄苔を伴う紅舌、あるいは頰脈を特徴とする証。外熱の攻撃又は陽気の勢いのいずれかによって生じるものと説明できる。

**SC23****寒証<sup>(TM)</sup>**

寒證 - Han zheng<sup>(zh)</sup>, カンシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hanjeung<sup>(ko)</sup>

悪寒又は畏寒、熱を好む冷痛、口渇の欠如、希薄な透明の痰及び鼻粘液、長時間の清澄尿の排出、下痢、白い顔色、白苔を伴う淡白舌、ならびに緊脈又は遅脈を特徴とする証。体外の寒邪又は体内の陽不足のいずれかによって生じるものと説明できる。

**SC24****実証<sup>(TM)</sup>**

實證 - Shi zheng<sup>(zh)</sup>, ジツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Siljeung<sup>(ko)</sup>

発汗のない重度の悪寒、強脈又は強い腹壁を特徴とする証。六淫、病邪、寄生虫・毒素などの外邪に対する強い反応によって、あるいは痰、水飲、水、湿邪、膿、瘀血及び宿食など内臓の機能障害による病的な産物の蓄積によって説明できる。

**SC25****虚証<sup>(TM)</sup>**

虚證 - Xu zheng<sup>(zh)</sup>, キョシヨウ<sup>(ja)</sup>, Heojeung<sup>(ko)</sup>

疲労、弱脈又は弱い腹壁を特徴とする証。病原因子(病邪)に対する弱い反応によって、あるいは陰虚、陽、気及び血を含む正気の不足によって説明できる。

**SC26****裏証<sup>(TM)</sup>**

裏證 - Li zheng<sup>(zh)</sup>, リシヨウ<sup>(ja)</sup>, Ijeung<sup>(ko)</sup>

持続性又は再発性の腹部膨満、腹痛、便秘、下痢、あるいはより深い部位にあり、重度又は聴器にわたる沈脈を特徴とする証。臓器、気、血液又は骨の深部に進入している病原因子(病邪)、ならびにその後の邪気に対する体の反応によって説明できる。

**SC27****表証<sup>(TM)</sup>**

表證 - Biao zheng<sup>(zh)</sup>, ヒョウシヨウ<sup>(ja)</sup>, Pyojeung<sup>(ko)</sup>

悪寒又は悪風、発熱、頭痛、体の痛み、舌苔又は浮脈を特徴とする証。これらの徴候及び症状は、通常、主に、突然発症(卒発)、体表部位、軽度及び短期によって特徴付けられる、外部関連疾患の早期にみられる。皮膚、関節及び頭の体外を冒す病原因子(病邪)、ならびにその後の病原因子(病邪)に対する反応によって説明できる。

**SC28****夾雜証<sup>(TM)</sup>**

夾雜證 - Jia za zheng<sup>(zh)</sup>, チュウカンシヨウトサクザツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hyeopjajeung<sup>(ko)</sup>

寒証と熱証の間の状態、虚証と実証の間の状態、寒・熱の証が錯綜した状態など、単純な基本原理では表すことが難しい証。

- SC28.1 実寒証<sup>(TM)</sup>  
實寒證 - Shi han zheng<sup>(zh)</sup>, カンジツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Silhanjeung<sup>(ko)</sup>  
寒冷不耐、面色蒼白、四肢の冷え、舌垢のない湿舌、薄い尿 (watery urine)、唾液、鼻漏、下痢、強脈、強い腹壁を特徴とする証。強い寒邪の影響によって説明できる。
- SC28.2 寒虚実中間証 Medium-cold pattern<sup>(TM)</sup>  
寒虚實中間證 - Han xu shi zhong jian zheng<sup>(zh)</sup>, カンキョジツチュウカンシヨウ<sup>(ja)</sup>  
寒冷不耐、面色蒼白、四肢の冷え、舌垢のない湿舌、薄い尿 (watery urine)、唾液、鼻漏、下痢、中間強度の脈、あるいは中間強度の腹壁を特徴とする証。病原因子 (病邪) に対する中間の反応によって説明できる。
- SC28.3 虚寒証<sup>(TM)</sup>  
虚寒證 - Xu han zheng<sup>(zh)</sup>, カンキョシヨウ<sup>(ja)</sup>, Heohanjeung<sup>(ko)</sup>  
寒冷不耐、面色蒼白、四肢の冷え、舌垢のない湿舌、薄い尿 (watery urine)、唾液、鼻漏、下痢、疲労又は衰弱、弱脈、弱い腹壁を特徴とする証。代謝活性レベルの減少、病原因子 (病邪) に対する弱い反応によって説明できる。
- SC28.4 寒熱中間実証<sup>(TM)</sup>  
寒熱中間實證 - Han re zhong jian shi zheng<sup>(zh)</sup>, カンネツチュウカンジツシヨウ<sup>(ja)</sup>  
熱不耐 (heat intolerance)、顔面紅潮 (red complexion)、熱い四肢 (hot limbs) など熱証<sup>TM</sup>を示す所見の欠如、あるいは寒冷不耐、面色蒼白、四肢の冷えなどの寒証<sup>TM</sup>; 強脈、強い腹壁を特徴とする証。平均的レベルの代謝活性、病原因子 (病邪) に対する強い反応によって説明できる。
- SC28.5 寒熱中間虚実中間証<sup>(TM)</sup>  
寒熱中間虚實中間證 - Han re zhong jian xu shi zhong jian zheng<sup>(zh)</sup>, カンネツチュウカン Kannelsu chukan kyojitsu chukan sho<sup>(ja)</sup>  
熱不耐 (heat intolerance)、赤い顔色 (red complexion)、熱い四肢 (hot limbs) など熱証<sup>TM</sup>を示す所見の欠如、あるいは寒冷不耐、面色蒼白、四肢の冷えなどの寒証<sup>TM</sup>; 中間の強さの脈、中間の強さの腹壁を特徴とする証。平均的レベルの代謝活性、病原因子 (病邪) に対する中間の反応によって説明できる。

SC28.6 寒熱中間虚証<sup>(TM)</sup>

寒熱中間虚証 - Han re zhong jian xu zheng<sup>(zh)</sup>, カンネツチュウカンキョシヨウ<sup>(ja)</sup>

熱不耐 (heat intolerance)、赤い顔色 (red complexion)、熱い四肢 (hot limbs) など熱証<sup>TM</sup>を示す所見の欠如、あるいは寒冷不耐、面色蒼白、四肢の冷えなどの寒証<sup>TM</sup>; 疲労及び衰弱、弱脈、弱い腹壁を特徴とする証。平均的レベルの代謝活性、病原因子 (病邪) に対する弱い反応によって説明できる。

SC28.7 実熱証<sup>(TM)</sup>

實熱証 - Shi re zheng<sup>(zh)</sup>, ネツジツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Silyeoljeung<sup>(ko)</sup>

発熱、悪熱及び寒冷選好 (preference for cold)、口渇、顔面紅潮、いらいら及び心煩、粘稠な黄色の痰及び鼻粘液、短時間の浅黒い尿の排出、便秘、黄苔を伴う紅舌、数脈又は強い腹壁を特徴とする証。六淫、有害な病邪、寄生虫・毒素などの外邪に対する強い反応によって、あるいは痰、水飲、水、湿、膿、瘀血及び宿食など、内臓の機能障害による病的な産物の蓄積によって生じる外熱の攻撃又は陽気の勢いのいずれかの結果として説明できる。

SC28.8 熱虚実中間証<sup>(TM)</sup>

熱虚実中間証 - Re xu shi zhong jian zheng<sup>(zh)</sup>, ネツキョジツチュウカンシヨウ<sup>(ja)</sup>

熱不耐 (heat intolerance)、赤い顔色 (red complexion)、熱い四肢 (hot limbs)、厚い舌苔に覆われた舌 (thickly coated tongue)、濃密又は厚い分泌物 (dense or thick discharge)、中間の強さの脈、中間の強さの腹壁を特徴とする証。代謝活性レベルの増加によって説明できる。

病邪に対する中間の反応。

SC28.9 虚熱証<sup>(TM)</sup>

虚熱証 - Xu re zheng<sup>(zh)</sup>, ネツキョシヨウ<sup>(ja)</sup>, Heoyeoljeung<sup>(ko)</sup>

悪寒又は畏寒、熱を好む冷痛、口渇の欠如、希薄な透明の痰及び鼻粘液、長時間の清澄尿の排出、下痢、白い顔色、白苔を伴う淡白舌ならびに緊脈又は遅脈及び弱い腹壁を特徴とする証。体外の寒邪又は体内の陽不足のいずれかによって生じる結果として説明できる。

SC28.A 寒熱錯雑実証<sup>(TM)</sup>

寒熱錯雑實証 - Han re cuo za shi zheng<sup>(zh)</sup>, カンネツサクザツジツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hannyeolchakjapsiljeung<sup>(ko)</sup>

冷感を伴う上半身のほてり及び下半身の蒼白など、寒証<sup>(TM)</sup>及び熱証<sup>(TM)</sup>の共存; 強脈、強い腹壁を特徴とする証。体の異なる部位での熱産生の増加と減少の共存、病邪に対する強い反応によって説明できる。

SC28.B 寒熱錯雜虚実中間証<sup>(TM)</sup>

寒熱錯雜虚実中間証 - Han re cuo za xu shi zhong jian zheng<sup>(zh)</sup>, カンネツサクザツキョウジツチュウ  
カンシヨウ<sup>(ja)</sup>

冷感を伴う上半身のほてり及び下半身の蒼白など、寒証<sup>(TM)</sup>及び熱証<sup>(TM)</sup>の共存; 中間の強さの脈、中間の強さの腹壁を特徴とする証。体の異なる部位での熱産生の増加と減少の共存によって説明できる。

病邪に対する中間の反応。

SC28.C 寒熱錯雜虚証<sup>(TM)</sup>

寒熱錯雜虚証 - Han re cuo za xu zheng<sup>(zh)</sup>, カンネツサクザツキョシヨウ<sup>(ja)</sup>,  
Hanyeolhyeopjapeojeung<sup>(ko)</sup>

冷感を伴う上半身のほてり及び下半身の蒼白など、寒証<sup>(TM)</sup>及び熱証<sup>(TM)</sup>の共存; 疲労又は衰弱、弱脈、弱い腹壁を特徴とする証。体の異なる部位での熱産生の増加と減少の共存、病邪に対する弱い反応によって説明できる。

SC28.Y その他の特定の混合原理ベース (mixed principle-based) の証<sup>(TM)</sup>

-

SC28.Z 混合原理ベース (mixed principle-based) の証<sup>(TM)</sup>、詳細不明

-

**SC2Y**

その他の特定の原理ベース (principle-based) の証<sup>(TM)</sup>

-

**SC2Z**

原理ベース (principle-based) の証<sup>(TM)</sup>、詳細不明

-

## 気血津液証<sup>(TM)</sup>

氣血津液證 Qi xue jin ye zheng<sup>(zh)</sup>

キケツスイノシヨウ<sup>(ja)</sup>

Gihyeoljinaekbyeongjeung<sup>(ko)</sup>

本セクションは、4種の体成分である、気、血、津及び精のさまざまな機能障害を含んでいる。これらの証は、気、血又は精の異常な流れ、あるいは津の機能不全性分布など共通の病因に基づいてグループ分けされている。

## 気証<sup>(TM)</sup>

氣證 Qi zheng<sup>(zh)</sup>

キノイジヨ<sup>(ja)</sup>

Gijeung<sup>(ko)</sup>

本セクションは、体成分としての気の機能障害に関連するさまざまな証を含んでいる。気証(TM)は、身体エネルギー供給の TM 障害、TM 精神障害、あるいは TM 自律神経系障害によって説明できる。

### SC30

#### 気虚証<sup>(TM)</sup>

氣虚證 - Qi xu zheng<sup>(zh)</sup>, キキヨシヨウ<sup>(ja)</sup>, Giheojeung<sup>(ko)</sup>

生命活動の減少、疲労、衰弱又は食欲の喪失を特徴とする証。しばしば上腹部の虚<sup>(TM)</sup>を伴う消耗した状態など、気の量の減少によって説明できる。

### SC31

#### 気滞証<sup>(TM)</sup>

氣滯證 - Qi zhi zheng<sup>(zh)</sup>, キタイシヨウ<sup>(ja)</sup>, Gichejeung<sup>(ko)</sup>

喉の閉塞感、耳管の閉塞感、腸内ガスの滞留による腹部膨満、抑うつ状態又は手に負えない痛みを特徴とする証。肝臓、胃又は腸など、関連する臓器の気機不利によって説明できる。

SC32

氣逆証<sup>(TM)</sup>

氣逆證 - Qi ni zheng<sup>(zh)</sup>, キギヤクシヨウ<sup>(ja)</sup>, Giyeokjeung<sup>(ko)</sup>

動悸、浮動性めまい、斜頸、頭痛又は活発な腹部大動脈拍動を伴うことがある上半身の熱感の特徴とする証。特に、食物蓄積、あるいは嘔吐を引き起こすことがある、異常な上方への気の動きを生じさせる過度の気象要因によって胃気の正常方向への動きが乱された際の気の逆の動きによって説明できる。

SC3Y

その他の特定の気証<sup>(TM)</sup>

-

SC3Z

気証<sup>(TM)</sup>、詳細不明

-

血証<sup>(TM)</sup>

血證 Xue zheng<sup>(zh)</sup>

ケツノイジヨ<sup>(ja)</sup>

Hyeoljeung<sup>(ko)</sup>

本セクションは、体成分としての血の機能障害に関連するさまざまな証を含んでいる。血証<sup>(TM)</sup>は、貧血、静脈還流の閉塞を含む血液循環(血流)の障害による瘡(低栄養状態)によって説明できる。

SC40

血虚証<sup>(TM)</sup>

血虚證 - Xue xu zheng<sup>(zh)</sup>, ケツキヨシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hyeolheojeung<sup>(ko)</sup>

貧血、萎縮性乾燥皮膚、脱毛、爪の変形、筋けいれん、健忘、面色蒼白又は面色萎黄、青白い唇、舌及び爪、浮動性めまい、弱い視力、動悸、夢見心地(dreaminess)、手足のしびれ感(無感覚)、ならびに女性における、少量で淡色の月経血、月経不順又は無月経、乏しい脈(thin pulse)などを特徴とする証。内臓、経絡及び体に栄養分を供給できない不十分な血液によって説明できる。

**SC41****血瘀証<sup>(TM)</sup>**血瘀證 - Xue yu zheng<sup>(zh)</sup>, オケツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hyeoleojeung<sup>(ko)</sup>

unpressable pain を伴う局所の青及び紫がかったしこり(腫瘍:lump)、刺すような痛み(チクチクする痛み)を伴う固定された unpressable 腹部腫瘍、紫舌又は斑を伴う紫舌、針金様・渋脈などを特徴とする証。無月経、月経困難症、更年期症候群などのさまざまな月経障害; 下腹部膨満、静脈瘤、痔核、気分変動でよくみられる証である。不順な血液循環(血流)をもたらす血瘀の裏の閉塞によって説明できる。

**SC42****血熱証<sup>(TM)</sup>**血熱證 - Xue re zheng<sup>(zh)</sup>, ケツネツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hyeolyeoljeung<sup>(ko)</sup>

鼻出血、吐血、咯血、大便中への出血、出血を伴う皮膚発疹(皮疹)、大量の鮮紅色の月経血を含む出血、発熱、煩躁、落ち着きのなさ、譫妄、痙攣、真っ赤な舌又は数・針金様脈を特徴とする証。体への火又は熱の進入によって説明できる。

**SC43****血寒証<sup>(TM)</sup>**血寒證 - Xue han zheng<sup>(zh)</sup>, ケツカンシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hyeolhanjeung<sup>(ko)</sup>

黒紫色の皮膚を伴う四肢の冷痛あるいは温めると緩和し冷やすと悪化する下腹部の仙痛、月経後期及び血餅の混じった黒紫色の月経、白苔又は不規則に変わる遅・沈脈を特徴とする証。気滞あるいは気及び血の寒さによる妨害を引き起こす、過度の寒冷因子によって説明できる。

**SC44****血燥証<sup>(TM)</sup>**血燥證 - Xue zao zheng<sup>(zh)</sup>, ケツソウシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hyeoljojeung<sup>(ko)</sup>

口内乾燥及び喉の痛み、四肢及び体の皮膚の乾燥、乾燥した毛髪、鼻出血、便秘、ならびに潤いのない乾燥した舌を特徴とする証。体内で作られられる津又は熱の不足によって説明できる。

**SC4Y****その他の特定の血証<sup>(TM)</sup>**

-

**SC4Z****血証<sup>(TM)</sup>、詳細不明**

-



## 津証<sup>(TM)</sup>

津證（包括痰） Jin zheng (bao kuo tan)<sub>(zh)</sub>

スイノイジヨ/ スイドク<sub>(ja)</sub>

Jinaekseupdamjeung<sub>(ko)</sub>

本セクションは、体成分としての津の機能障害に関連するさまざまな証を含んでいる。津証<sup>(TM)</sup>は、体内の水及び湿邪の停滞又は不均衡によって説明できる。

### SC50

#### 津液虧虚証<sup>(TM)</sup>

津液虧虚證 - Jin ye kui xu zheng<sub>(zh)</sub>, シンエキキキヨシヨウ<sub>(ja)</sub>, Jinaekhyusonjeung<sub>(ko)</sub>

口及び喉の乾燥、乾燥した唇、鱗屑状の唇 (scaly lips) 及び口角のひび割れ、飲水の渴望を伴う口内乾燥、少量の排尿、乾燥した排便、赤く乾燥した舌、ならびに乏・速・弱脈を特徴とする証。臓器や身体組織を潤し滋養することができない津の不足によって説明できる。

### SC51

#### 水毒証<sup>(TM)</sup>

水毒證 - Shui du zheng<sub>(zh)</sub>, スイドクシヨウ<sub>(ja)</sub>, Sudokjeung<sub>(ko)</sub>

津の停滞あるいは消化管、身体の組織又は空洞部における脱水を特徴とする証。津の異常な分布及び津や電解質の不均衡によって説明できる。

### SC52

#### 燥痰証<sup>(TM)</sup>

燥痰證 [燥痰蘊結證] - Zao tan zheng [Zao tan yun jie zheng]<sub>(zh)</sub>, ソウタンシヨウ (ソウタンウンケツシヨウ)<sub>(ja)</sub>, Jodamjeung<sub>(ko)</sub>

喀出することが難しい少量又は血痰、胸部の痛み又は不快感、口及び鼻の乾燥、乾燥又は粘液性の舌苔 (dry or slimy tongue coating)、あるいは細く、不規則に変わる、渋・数・弱脈を特徴とする証。肺における火・熱の蓄積、痰の乾燥又は混濁によって説明できる。

### SC53

#### 湿痰証<sup>(TM)</sup>

湿痰證 - Shi tan zheng<sub>(zh)</sub>, シツタンシヨウ<sub>(ja)</sub>, Seupdamjeung<sub>(ko)</sub>

喀出することが容易な大量の、粘稠な痰、四肢の重量感、胸及び上腹部の息苦しさ、食欲不振、口の中のねばねば感、濡脈・緩脈又は滑脈を特徴とする証。肺における湿邪又は痰の増加によって説明できる。

SC54

痰火擾心証<sup>(TM)</sup>

痰火擾心證 - Tan huo rao xin zheng<sup>(zh)</sup>, タンカジョシンシヨウ<sup>(ja)</sup>, Damhwayosimjeung<sup>(ko)</sup>

落ち着きのなさ、失眠又は狂乱状態、紅舌炎、顆粒の密な黄・賦苔、ならびに数・滑脈を特徴とする証。心神を苦しめる痰火によって説明できる。

SC55

風痰証<sup>(TM)</sup>

風痰證 - Feng tan zheng<sup>(zh)</sup>, フタンシヨウ<sup>(ja)</sup>, Pungdamjeung<sup>(ko)</sup>

泡状の痰の喀出、胸内苦悶、浮動性めまい、頭及び眼の脹痛、喉のうっ血、四肢のしびれ感(無感覚)、話すことができない意識消失、顔面痙攣、白い脂性の舌苔、あるいは針金様・滑脈を特徴とする証。風又は痰濁の気候要因によって説明できる。

SC5Y

その他の特定の津証<sup>(TM)</sup>

-

SC5Z

津証<sup>(TM)</sup>、詳細不明

-

精証<sup>(TM)</sup>

精證 Jing zheng<sup>(zh)</sup>

セイシヨウ<sup>(ja)</sup>

Jeongjeung<sup>(ko)</sup>

本セクションは、さまざまな精障害証<sup>(TM)</sup>を含んでいる。それらは、身体構造を構築し、身体機能、あるいは腎臓に貯蔵される生殖の精を維持する、精の共通の病因学に基づいてグループ化される。精証<sup>(TM)</sup>は、体内の基本的物質の不足によって説明できる。

SC60

精虚証

-

菲薄化、浮動性めまい、耳鳴、矮小体、緩動作、精神遅滞、あるいは男性における精子減少症、陰萎、早泄(早漏)、女性における不妊症、少量の月経又は白帯下の減少を特徴とする証。生命維持に必要な精の不足によって説明できる。

**SC6Y**      その他の特定の精証<sup>(TM)</sup>

-

**SC6Z**      精証<sup>(TM)</sup>、詳細不明

-

**SC8Y**      その他の特定の気血津液証<sup>(TM)</sup>

-

**SC8Z**      気血津液証<sup>(TM)</sup>、詳細不明

-

DR

AF

## 臟腑和經絡証<sup>(TM)</sup>

臟腑和經絡證 Zang fu he jing luo zheng<sup>(zh)</sup>

ゾウフビョウシヨウ<sup>(ja)</sup>

JangbugyeongnakByeonjeung<sup>(ko)</sup>

本セクションは、目に見えない作用、機能、あるいは体全体を循環する仕組みを意味する、気における明白な病因学を共通して有することに基づいてグループ化される、さまざまな気障害証<sup>(TM)</sup>を含んでいる。気証<sup>(TM)</sup>は、身体エネルギー供給の障害、精神障害、あるいは自律神経系障害によって説明できる。

## 肝病証<sup>(TM)</sup>

肝病證 Gan bing zheng<sup>(zh)</sup>

カンビョウシヨウ<sup>(ja)</sup>

Ganbyeongjeung<sup>(ko)</sup>

本セクションは、すべて肝臓系<sup>(TM)</sup>の機能不全に起因する一連の TM 証を含んでいる。肝臓系は肝臓、胆嚢、腱、爪、眼、関連する経絡からなる。

**SC90**

### 肝陰虚証<sup>(TM)</sup>

肝陰虚證 - Gan yin xu zheng<sup>(zh)</sup>, カンインキョシヨウ<sup>(ja)</sup>, Ganeumheojeung<sup>(ko)</sup>

経度の浮動性めまい、目暗 (dim vision)、乾燥眼、霧視、頬部潮紅、下肋部の灼熱痛、手掌、足底及び心臓の熱感を伴う炎症、少量の舌苔を伴う紅舌、あるいは乏・速脈を特徴とする証。肝臓と関連する組織を冷やし、滋養するために必要な肝臓の陰津不足によって説明できる。

**SC91**

### 肝陽虚証<sup>(TM)</sup>

肝陽虚證 - Gan yang xu zheng<sup>(zh)</sup>, カンヨウキョシヨウ<sup>(ja)</sup>, Ganyangheojeung<sup>(ko)</sup>

うつ病、驚きやすい、下肋部の膨満及び重圧感、四肢の冷えを伴う畏寒、めまい、霧視、白苔を伴う淡白舌、ならびに沈・遅・弱脈を特徴とする証。肝機能の低下を伴う陽気の弱まりによって説明できる。

SC92

肝陽上亢証<sup>(TM)</sup>

肝陽上亢證 [肝陽上擾證] [肝陽亢盛證] - Gan yang shang kang zheng [Gan yang shang rao zheng] [Gan yang kang sheng zheng]<sub>(zh)</sub>, カンヨウジヨウコシヨウ<sub>(ja)</sub>, Ganyangsanghangjeung<sub>(ko)</sub>

浮動性めまい、耳鳴、頭及び目の脹痛、頭重感、赤い顔色及び耳、性急、いらいら、失眠、夢による睡眠障害、腰及び膝の痛み及び脱力、口苦、紅舌、あるいは針金様脈を特徴とする証。頭に影響を及ぼす肝陽の過度の動きによって説明できる。

SC93

肝気虚証<sup>(TM)</sup>

肝気虚證 - Gan qi xu zheng<sub>(zh)</sub>, カンキキヨシヨウ<sub>(ja)</sub>, Gangiheojeung<sub>(ko)</sub>

霧視、下肋部の充満感、くすんだ爪、面青、ならびに恐怖感を特徴とする証。五臓六腑 (zangfu) 肝臓の機能障害につながる気の不足によって説明できる。

SC94

肝郁氣滯証<sup>(TM)</sup>

肝郁證 [肝郁氣滯證] - Gan yu zheng [Gan yu qi zhi zheng]<sub>(zh)</sub>, カンウツキタイシヨウ<sub>(ja)</sub>, GanulGichejeung<sub>(ko)</sub>

感情の落ち込み、頻繁な太息、行ったり来たりする遊走痛を伴う胸部、下肋部及び下腹部の膨満感及び重圧感、女性における乳房脹痛及び月経不順、ならびに針金様脈を特徴とする証。体内及び肝臓と関連する組織における気機の停滞を引き起こす、気の運搬及び分散における肝臓の機能不全によって説明できる。

SC95

肝血虚証<sup>(TM)</sup>

肝血虚證 - Gan xue xu zheng<sub>(zh)</sub>, カンケンキヨシヨウ<sub>(ja)</sub>, Ganhyeolheojeung<sub>(ko)</sub>

軽度の浮動性めまい、目暗 (dim vision) 及び霧視、夜盲 (雀目)、四肢のしびれ感 (無感覚)、少量の淡色の月経又は無月経、面色蒼白、蒼白の爪床及び舌、ora 乏脈を特徴とする証。貧血状態による肝臓における血の減少、あるいは体内の正常な血の欠如を引き起こし、肝臓や肝臓に関連する組織を滋養できない他の状態によって説明できる。

SC96

肝郁血瘀証<sup>(TM)</sup>

肝郁血瘀證 - Gan yu xue yu zheng<sub>(zh)</sub>, カンウツケツオシヨウ<sub>(ja)</sub>, GanulHyeoleojeung<sub>(ko)</sub>

うつ病、下肋部又は骨盤の脹痛又は鋭痛あるいは固定した腫瘤の形成、紫舌又は舌の紫上の斑点、あるいは不規則に変わる針金様脈を特徴とする証。肝臓内の血瘀を引き起こしているうつ滞した肝気によって説明できる。

**SC97****肝風内動証<sup>(TM)</sup>**

肝風内動証 - Gan feng nei dong zheng<sup>(zh)</sup>, カンプウナイドウシヨウ<sup>(ja)</sup>, Ganpungnaedongjeung<sup>(ko)</sup>

四肢の痙攣、浮動性めまい及び振戦を特徴とする証。風陽、火熱又は血不足を伴う肝臓の機能不全によって説明できる。

**SC98****肝陽化風証<sup>(TM)</sup>**

肝陽化風証 - Gan yang hua feng zheng<sup>(zh)</sup>, カンヨウカフシヨウ<sup>(ja)</sup>, Ganyanghwapungjeung<sup>(ko)</sup>

重度の浮動性めまい及び回転性めまい、あるいは頭及び四肢の振戦を伴って生じる突発の昏厥又は失神、易刺激性、怒りやすい傾向、顔面紅潮、紅舌又は針金様脈を特徴とする証。肝風の内動を引き起こす肝陽の活動亢進によって説明できる。

**SC99****肝氣化火証<sup>(TM)</sup>**

肝氣化火証 [肝郁化火証] - Gan qi hua huo zheng [ Gan yu hua huo zheng ]<sup>(zh)</sup>, カンキカラシヨウ[カンウツカラシヨウ]<sup>(ja)</sup>, Ganulhwahwajeung<sup>(ko)</sup>

下肋部の脹痛及び灼熱痛、ならびに落ち着きのなさ、易刺激性、口苦、口内乾燥、黄苔を伴う紅舌、あるいは針金様数脈を特徴とする証。肝臓と関連した組織や機能に影響を及ぼす内部の火邪を誘発する、肝気の長期停滞によって説明できる。

**SC9A****肝火上炎証<sup>(TM)</sup>**

肝火上炎証 - Gan huo shang yan zheng<sup>(zh)</sup>, カンカジョウエンシヨウ<sup>(ja)</sup>, Ganhwasangyeomjeung<sup>(ko)</sup>

発熱、口渇、頭痛、めまい、ブンブンという音が聞こえる耳鳴、聴覚障害、目の充血、おびただしい出血、上半身(鼻、咳嗽、嘔吐)又はからの鮮紅色の血液、いらいらする、口苦、黄苔を伴う紅舌、数・針金様脈を特徴とする証。肝臓につながっている組織に作用している過度の肝火の活動亢進によって説明できる。

**SC9B****肝熱動風証<sup>(TM)</sup>**

肝熱動風証 - Gan re dong feng zheng<sup>(zh)</sup>, カンネツドウフウシヨウ<sup>(ja)</sup>, GanyeolDongpungjeung<sup>(ko)</sup>

壮熱、口渇、昏睡及び譫妄、四肢の痙攣、後弓反張、黄苔を伴う紅舌あるいは数脈を特徴とする証。風を生み出す過度の熱によって説明できる。

**SC9C****肝膽濕熱証<sup>(TM)</sup>**

肝膽濕熱証 - Gan dan shi re zheng<sup>(zh)</sup>, カンネツシツウネツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Gandamseupyeoljeung<sup>(ko)</sup>

発熱及び悪寒、皮膚及び眼の滯黄変色、下肋部痛及び腹痛、口苦、悪心、あるいは数・滑脈を特徴とする証。胆汁流及び湿熱下注を生じさせる、肝臓及び胆嚢における湿熱の蓄積によって説明できる。

**SC9D**

**肝經濕熱証<sup>(TM)</sup>**

肝經濕熱證 - Gan jing shi re zheng<sup>(zh)</sup>, カンケイシツネツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Gangyeongseupyeoljeung<sup>(ko)</sup>

湿及び熱が肝経絡に進入する際に生じる証で、下肋部の脹痛、そう痒感及び痛みのある腫脹した性器、化膿性分泌物を伴う耳痛、黄・膩苔を伴う紅舌ならびに数・滑脈を特徴とする。

**SC9E**

**寒滯肝脈証<sup>(TM)</sup>**

寒滯肝脈證 - Han zhi gan mai zheng<sup>(zh)</sup>, カンタイカンミヤクシヨウ<sup>(ja)</sup>, Hancheganmaekjeung<sup>(ko)</sup>

下腹部の寒性の痛み又は外部性器 (exterior genitalia) の収縮性の痛み (contracting pain)、冷やすと悪化し温めると軽減する頭頂部痛を特徴とする証。悪寒、四肢の冷え、唾液の吐出又は清澄な粘液の吐出、白苔、あるいは針金様・を伴う。肝経絡を停滞させる寒の進入によって説明できる。

**SC9F**

**膽氣虚証<sup>(TM)</sup>**

膽氣虚證 - Dan qi xu zheng<sup>(zh)</sup>, タンキキヨシヨウ<sup>(ja)</sup>, Damgiheojeung<sup>(ko)</sup>

パニック傾向、疑い深い、太息、神経質、いらいらする、嗜眠、めまい及び失眠を特徴とする証。臆病をもたらす化学的不均衡を伴う胆嚢の気の虚、心神の不穏及び心神の障害によって説明できる。

**SC9G**

**膽郁痰擾証<sup>(TM)</sup>**

膽郁痰擾證 - Dan yu tan rao zheng<sup>(zh)</sup>, タンウツタンジヨシヨウ<sup>(ja)</sup>, Damuldamyojeung<sup>(ko)</sup>

臆病、驚きやすさ、失眠及び夢の多い睡眠、苛立ち、胸部及び下肋部の重圧感および膨満感、頻繁な太息、浮動性めまい、口苦、悪心、嘔吐、白膩苔又は弦脈を特徴とする証。胆嚢の停滞及び気の拡散不全をもたらす痰濁の障害によって説明できる。

**SC9H**

**膽熱証<sup>(TM)</sup>**

膽熱證 - Dan re zheng<sup>(zh)</sup>, タンネツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Damyeljeung<sup>(ko)</sup>

易刺激性、怒り、下肋部膨満、口苦、耳痛、耳鳴、失眠あるいは黄苔を伴う紅舌を特徴とする証。胆経絡に進入する過盛な熱によって説明できる。

**SC9J**

**膽寒証<sup>(TM)</sup>**

膽寒證 - Dan han zheng<sup>(zh)</sup>, タンカンシヨウ<sup>(ja)</sup>, Damhanjeung<sup>(ko)</sup>

悪寒、手足の冷え、筋力低下、下肋部痛、透明な津の嘔吐、消化障害、めまい、霧視、嗜眠、臆病又は失眠を特徴とする証。胆経絡 (gallbladder meridian) における陽不足により生じる機能不全又は不調和によって説明できる。

**SC9K****虫擾膽膈証<sup>(TM)</sup>**

蟲擾膽膈證 [蟲擾膽膈証] - Chong rao dan ge zheng [Chong rao dan fu zheng]<sup>(zh)</sup>, チュウジョタンカクシヨウ [チュウジョタンフシヨウ]<sup>(ja)</sup>, Chungyodamgyeokjeung<sup>(ko)</sup>

上腹部の急激な刺し込む痛み、発作中の面色蒼白、手足の冷え、苦い津の嘔吐、回虫の嘔吐及び針金様の脈を特徴とする証。胆嚢及び消化器系の上方に進入する回虫の体内の障害によって説明できる(胆道回虫症)。

**SC9L****肝腎陰虚証<sup>(TM)</sup>**

肝腎陰虚證 - Gan shen yin xu zheng<sup>(zh)</sup>, カンジンインキョシヨウ<sup>(ja)</sup>, Gansineumheojeung [Gansineumhyujeung]<sup>(ko)</sup>

軽度の浮動性めまい、霧視、耳鳴、健忘症、失眠及び夢に邪魔される睡眠、下肋骨痛、背部及び脚の酸痛、脚の筋緊張低下、頬部潮紅、胸部、手掌及び足底の熱感、寝汗、男性における夢精、女性における月経過少、少量の舌苔を伴う紅舌、あるいは速・乏脈を特徴とする証。ホルモン及び内分泌物の変動を伴う、組織への循環不足及び組織の滋養補給不足をもたらしている、内熱を苦しめている肝臓及び腎臓の陰不足によって説明できる。

**SC9M****肝脾不和証<sup>(TM)</sup>**

肝脾不和證 - Gan pi bu he zheng<sup>(zh)</sup>, カンヒフワシヨウ<sup>(ja)</sup>, Ganbibuwhajeung<sup>(ko)</sup>

両側腹部の痛み、放屁、食欲不振、易刺激性、白苔を伴う舌又は緊張し、弛緩した舌を特徴とする証。肝臓と脾臓との間の不調和によって説明でき、極度に興奮した肝気が脾臓に影響を及ぼしている。

**SC9N****肝胃不和証<sup>(TM)</sup>**

肝胃不和證 [肝胃不調證] - Gan wei bu he zheng [Gan wei bu tiao zheng]<sup>(zh)</sup>, カンイフワシヨウ (カンイフチョウシヨウ)<sup>(ja)</sup>, Ganwibuwhajeung<sup>(ko)</sup>

浮動性めまい、下肋骨痛、易刺激性、心窩部の膨満及び疼痛、食欲不振、おくび、悪心、嘔吐及び弦脈を特徴とする証。胃気が正常に降下することを妨げ、胃症状の存在をもたらしている、胃へ進入するため上向きに流れる肝気の停滞と関連するストレス又は代謝状態によって説明できる。

**SC9P****肝火犯胃証<sup>(TM)</sup>**

肝火犯胃證 - Gan huo fan wei zheng<sup>(zh)</sup>, カンカハンイシヨウ<sup>(ja)</sup>, GanhwaBeomwijeung<sup>(ko)</sup>

胃、心窩部及び下肋骨の灼熱感及び疼痛、口苦、口内乾燥、苦い液体の嘔吐、便秘、黄色尿、黄苔を伴う紅舌あるいは針金様・速脈を特徴とする証。胃気を正常に降下させず消化機能不全をもたらしている、胃に侵入した過度の肝火によって説明できる。



SC9Q

肝火犯肺証<sup>(TM)</sup>

肝火犯肺証 - Gan huo fan fei zheng<sup>(zh)</sup>, カンカハンハイシヨウ<sup>(ja)</sup>, Ganhwabeompyejeung<sup>(ko)</sup>

口苦、浮動性めまい及び眼充血、易刺激性、怒り、胸部及び下肋部の疼痛、粘稠な痰及び血を伴う咳嗽、紅舌及び速く、強い針金様脈を特徴とする証。浄化するための肺の正常な機能に影響を及ぼしている、肺へ進入するため上向きに動く過度の肝火によって説明できる。

SC9Y

その他の特定の肝病証<sup>(TM)</sup>

-

SC9Z

肝病証<sup>(TM)</sup>、詳細不明

-

心病証<sup>(TM)</sup>

心病証 Xin bing zheng<sup>(zh)</sup>

シンビョウシヨウ<sup>(ja)</sup>

Simbyeongjeung<sup>(ko)</sup>

本セクションは、すべて心臓系<sup>(TM)</sup>の機能不全に起因する一連の TM 証を含んでいる。心臓系は心臓、小腸、脈、舌及び関連する経絡からなる。

SD00

火毒証<sup>(TM)</sup>

火毒証 [熱毒証] [火毒熾盛証] [熱毒熾盛証] - Huo du zheng [re du zheng] [huo du chi sheng zheng] [re du chi sheng zheng]<sup>(zh)</sup>, カドクシヨウ (ネツドクシヨウ) (カドクシセイシヨウ) (Netsudoku shisei sho)<sup>(ja)</sup>, Hwadokjeung<sup>(ko)</sup>

ただれ(瘡)、赤みを伴う皮膚のせつ又はよう、腫脹、灼熱痛、化膿又は潰瘍、発熱、口渇、黄苔及び速脈を特徴とする証。火又は熱の極度に過剰な増大によって説明できる。

SD01

心気虚証<sup>(TM)</sup>

心気虚証 [心気虧虚] - Xin qi xu zheng [Xin qi kui xu]<sup>(zh)</sup>, シンキキヨシヨウ<sup>(ja)</sup>, Simgiheojeung<sup>(ko)</sup>

動悸、息切れ(短気)、気力低下(無気力)、自然発汗(自汗)、蒼白、淡白舌ならびに弱脈又は不整脈を特徴とする証。心気及び心神の欠乏(虚)によって説明できる。

**SD02****心血虚証<sup>(TM)</sup>**

心血虚證 [心血虧虚] - Xin xue xu zheng [Xin xue kui xu]<sup>(zh)</sup>, シンケツキヨシヨウ<sup>(ja)</sup>,  
Simhyeolheojeung<sup>(ko)</sup>

動悸、浮動性めまい、夢に邪魔される睡眠、物忘れ(健忘症)、淡白な色の唇及び舌、あるいは細・乏脈を特徴とする証。心臓及び心神の栄養不良状態をもたらす、貧血、血の欠乏(虚)の状態によって説明できる。

**SD03****心気血両虚証<sup>(TM)</sup>**

心気血両虚證 - Xin qi xue liang xu zheng<sup>(zh)</sup>, シンキケツリヨウキヨシヨウ<sup>(ja)</sup>, Simgihyeolyangheojeung<sup>(ko)</sup>

動悸、息切れ(短気)、気力低下(無気力)、疲労、浮動性めまい、物忘れ(健忘症)、夢に邪魔される睡眠、面色蒼白及び淡白舌、ならびに細・弱脈を特徴とする証。心臓及び心神を奪っている気及び血の欠乏(虚)によって説明できる。

**SD04****心脈痹阻証<sup>(TM)</sup>**

心脈痹阻證 - Xin mai bi zu zheng<sup>(zh)</sup>, シンミヤクソタイシヨウ<sup>(ja)</sup>, Simmaekbijeung<sup>(ko)</sup>

ひどい拍動感を伴う動悸発作、肩又は上腕へ放散する心臓及び胸部の痛み及び圧迫感を特徴とする証。妨げられている心脈によって説明できる。

**SD05****心陰虚証<sup>(TM)</sup>**

心陰虚證 [心陰虧虚] - Xin yin xu zheng [Xin yin kui xu]<sup>(zh)</sup>, シンインキヨシヨウ<sup>(ja)</sup>, Simeumheojeung<sup>(ko)</sup>

精神的いらいら、動悸、失眠、低熱、寝汗、頬部の潮紅及び暖かさ、口渇、煩躁、浮動性めまい、物忘れ(健忘症)、舌苔を伴う紅舌、あるいは乏。速脈を特徴とする証。心臓及び心神に滋養物を与える陰津の欠乏(虚)によって説明できる。

**SD06****心気陰両虚証<sup>(TM)</sup>**

心気陰両虚證 - Xin qi yin liang xu zheng<sup>(zh)</sup>, シキンリヨウキヨシヨウ<sup>(ja)</sup>, Simgieumyangheojeung<sup>(ko)</sup>

動悸、息切れ、疲労(倦怠感)、浮動性めまい、失眠、夢見心地(dreaminess)、頬部潮紅、舌苔がほとんどない紅舌、速脈又は弱脈を特徴とする証。枯渴した心気と陰の組み合わせだった現れとしてもみられる。心臓及び心神が滋養物を得られなくなる、気と陰双方の欠乏(虚)によって説明できる。

**SD07**

**心陽虚証<sup>(TM)</sup>**

心陽虚證 [心陽虧虚] - Xin yang xu zheng [Xin yang kui xu]<sup>(zh)</sup>, シンヨウキョシヨウ<sup>(ja)</sup>,  
Simyangheojeung<sup>(ko)</sup>

動悸、息切れ、胸部の圧迫感、喘息、悪風、手足の冷え、面色晄白、暗黒色の唇及び白苔を伴う舌、弱脈又は不整脈を特徴とする証。心臓及び体を温め、活性化させる陽の欠乏(虚)によって説明できる。

**SD08**

**心陽暴脱証<sup>(TM)</sup>**

心陽暴脱證 - Xin yang bao tuo zheng<sup>(zh)</sup>, シンヨウボウダツシヨウ<sup>(ja)</sup>, Simyangpoktaljeung<sup>(ko)</sup>

突然の多汗、冷たい皮膚、四肢冷感、弱々しい呼吸、動悸、意識混濁又は意識消失、面色蒼白又はほとんど触れない脈を特徴とする証。Heat yan の極度の欠乏(虚)によって説明できる。

**SD09**

**心火上炎証<sup>(TM)</sup>**

心火上炎證 - Xin huo shang yan zheng<sup>(zh)</sup>, シンカコシンシヨウ<sup>(ja)</sup>, Simhwasangyeomjeung<sup>(ko)</sup>

口腔内潰瘍、精神的いらいら、失眠及び紅舌尖、ならびに発熱、口渇、煩躁及び速脈を特徴とする証。心臓から上方に燃えさかる火、あるいは上方に急増する心経における火の活動亢進によって説明できる。

**SD0A**

**熱擾心神証<sup>(TM)</sup>**

熱擾心神證 [火擾心神證] - Re rao xin shen zheng [huo rao xin shen zheng]<sup>(zh)</sup>, ネットジョウシンシンシヨウ (カジョウシンシンシヨウ)<sup>(ja)</sup>, Yeolyosimsinjeung<sup>(ko)</sup>

動悸、煩躁、失眠、睡眠中の夢の増加、譫妄、発熱、口渇、赤色の面色、黄苔を伴う紅舌、滑脈及び速脈を特徴とする証。心神を妨げる過剰な熱によって説明できる。

**SD0B**

**水気凌心証<sup>(TM)</sup>**

水気凌心證 - Shui qi ling xin zheng<sup>(zh)</sup>, スイキリョウシンシヨウ<sup>(ja)</sup>, Sugineungsimjeung<sup>(ko)</sup>

動悸、息切れ、特に脚の全身性腫脹 (generalized swelling)、少量の清澄尿、気力低下(無気力)、嗜眠、四肢の冷え、蒼白又は暗く陰うつな顔色、白・滑苔を伴う膨らんだ淡白舌及び沈・弱脈を特徴とする証。水の氾濫をもたらす、心臓及び肝臓における陽気の欠乏(虚)によって説明できる。

**SD0C**

**心神不甯証<sup>(TM)</sup>**

心神不甯證 - Xin shen bu ning zheng<sup>(zh)</sup>, シンシンブネイシヨウ<sup>(ja)</sup>, Sinsinbulnyungeung<sup>(ko)</sup>

動悸、煩躁、失眠、睡眠中の夢の増加を特徴とする証。情動状態及び病状と関連する心神の妨害によって説明できる。

**SD0D****憂傷神氣証<sup>(TM)</sup>**

憂傷神氣證 - You shang shen qi zheng<sup>(zh)</sup>, ジョウショウシンキショウ<sup>(ja)</sup>, UsangSingijeung<sup>(ko)</sup>

落ち込んだ感情 (depressed emotion)、無感情、失眠、夢見心地 (dreaminess)、浮動性めまい、疲労 (倦怠感)、食欲不振及び針金様の脈を特徴とする証。神を害する過度の不安によって説明できる。

**SD0E****小腸氣滯証<sup>(TM)</sup>**

小腸氣滯證 - Xiao chang qi zhi zheng<sup>(zh)</sup>, ショウチョウキタイショウ<sup>(ja)</sup>, Sojanggichejeung<sup>(ko)</sup>

下腹部の絞痛、鼓腸及び腹鳴 (borborygmus) を特徴とする証で、一部の男性患者では一方の陰囊の腫れを伴う。小腸における気滯、七情の停滞、あるいは陰寒のうっ滞及び結合によって説明できる。

**SD0F****小腸実熱証<sup>(TM)</sup>**

小腸實熱證 - Xiao chang shi re zheng<sup>(zh)</sup>, ショウチョウジツネツショウ<sup>(ja)</sup>, Sojangsilyeoljeung<sup>(ko)</sup>

精神不安定、口腔内潰瘍、胸部の熱感、腹痛、清涼飲料の渴望を伴う口渇、少量の暗黒色尿、血尿又は黄苔を伴う紅色の舌尖及び速脈を特徴とする証。心火の小腸への移動に起因する過剰な熱によって説明できる。

**SD0G****小腸虚寒証<sup>(TM)</sup>**

小腸虚寒證 - Xiao chang xu han zheng<sup>(zh)</sup>, ショウチョウキョウカンショウ<sup>(ja)</sup>, Sojangheohanjeung<sup>(ko)</sup>

大便中の未消化の食物、温めて圧迫すると軽減される腹部の鈍痛、温かい飲物の渴望、手足厥冷 (reversal cold of the extremities)、小便不利 (排尿困難: inhibited urination)、軟便 (sloppy stool)、白・滑苔を伴う淡白舌、深部にある弱・遅脈 (deep weak slow pulse) を特徴とする証。清澄な液と濁った液を分ける小腸の機能に影響を及ぼしている、陽気の不足と内寒に関連する小腸の障害によって説明できる。

**SD0H****心肝血虚証<sup>(TM)</sup>**

心肝血虚證 - Xin gan xue xu zheng<sup>(zh)</sup>, シンカンケツキョショウ<sup>(ja)</sup>, Simganhyeolheojeung<sup>(ko)</sup>

失眠、動悸、物忘れ (健忘症)、量の乏しい月経、面色蒼白、脆弱な爪及び毛髪、目暗 (dim vision)、飛蚊症 (visual floaters)、淡白舌及び細脈を特徴とする証。血、心臓及び肝臓の正常な機能に影響を及ぼす貧血又は失血の続発症などの状態と関連した、脳、頭、眼、腱及び爪から滋養分を奪っている心血及び肝血の欠乏 (虚) によって説明できる。